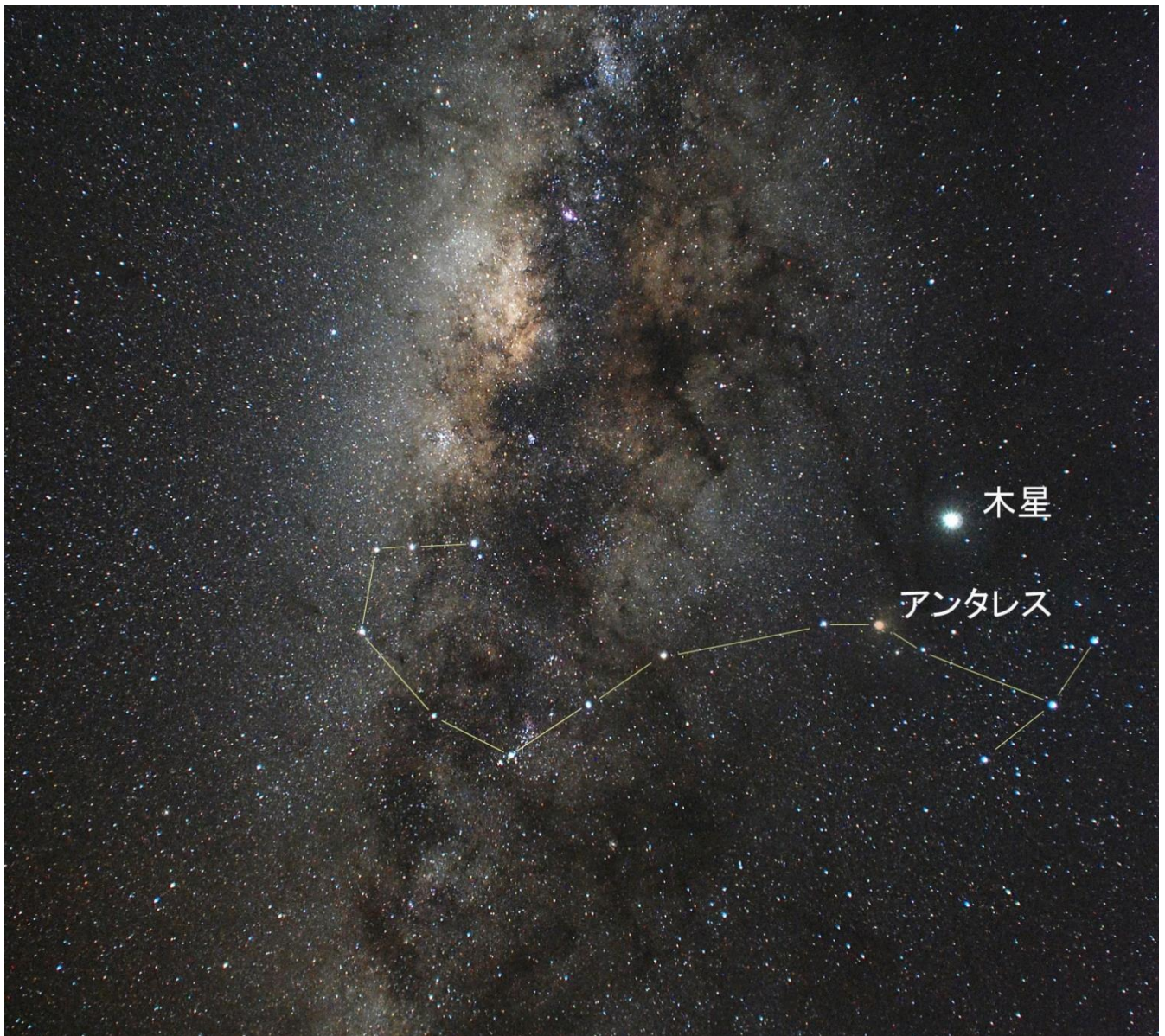


星の話（９） さそり座

2020.04.03 星のお爺様

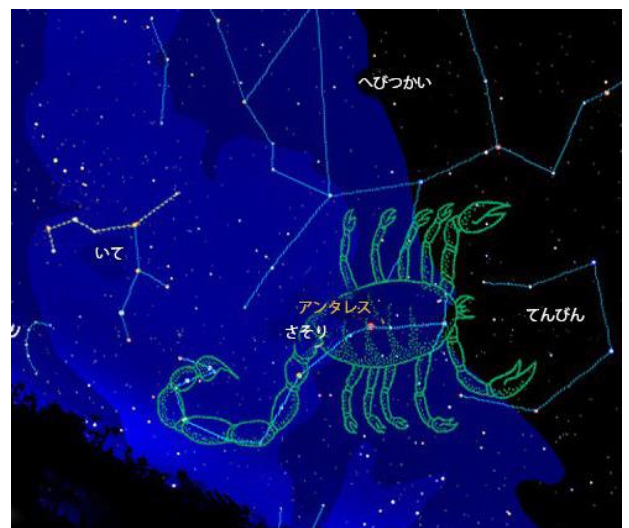
さそり座は、ギリシャ神話に登場するオリオンを刺したサソリがモデルになっています。天の川に大きなＳ字型で横たわっており、明るく見つけやすい星座のひとつです。



天の川とさそり座 ハワイ島マウナケア山にて撮影

さそり座のアンタレスは、赤く輝いていることから地域によって、アカボシ、サケヨイボシ、ホーネンボシ。また、星座全景から、ウオツリブシ（沖縄）、タイツリボシ（瀬戸内海地方）などと呼ばれています。面白いのは香川県高松市付近で、天神の投げた１本の禪を星たちが奪い合っている様子に見立ててフンドシバイボシと呼んでいるそうです。確かにそう見えなくもない。

アンタレスは、サソリの心臓ですが、宮沢賢治の『星めぐりの歌』では「あかいめだまのさそり」として登場します。赤く光っているので目立つ、という意味も込めたのかもしれません。



さそり座（星図より）